

食料安全保障と農業政策

キャノングローバル戦略研究所研究主幹
経済産業研究所・上席研究員
農学博士 山下 一仁

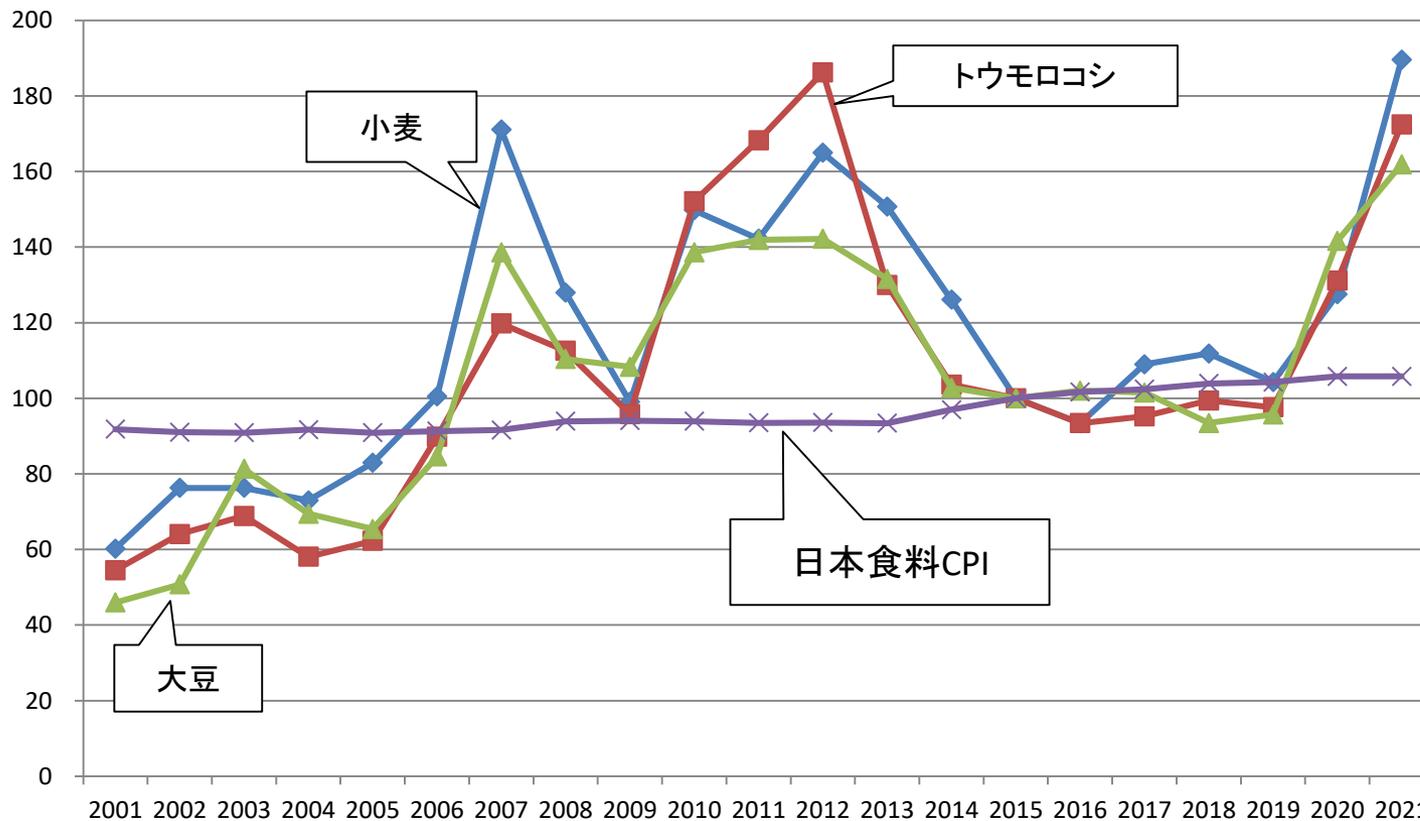
講義の構成

- ▶ 1. 世界の食料・農業事情
- ▶ 2. 日本のフードシステムとその特徴
- ▶ 3. 農産物の貿易と政策に関する国際規律
- ▶ 4. 食の安全と貿易
- ▶ 5. 日本の食料・農業政策の歴史
- ▶ 6. 日本の食料・農業政策の概要・特徴と農業への影響
- ▶ 7. 農業新技術と日本農業の可能性

2008年世界食料危機と日本



穀物国際価格指数と国内CPIの推移



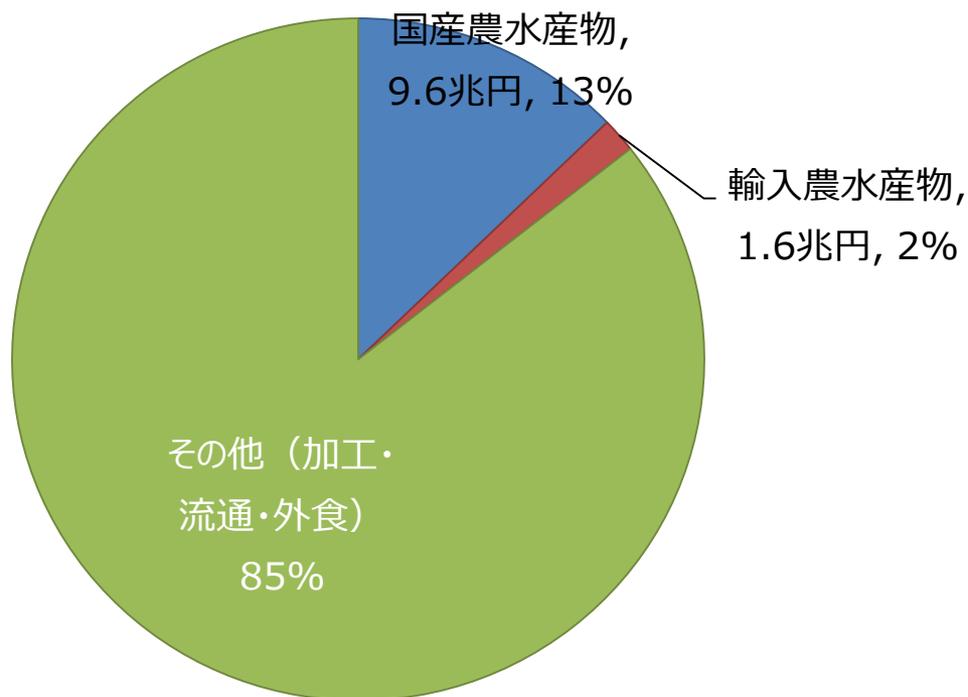
注: 穀物国際価格指数は2015/2016を、国内CPIは2015年をそれぞれ100とした数値

年度

なぜ、日本に食料危機は起きない？



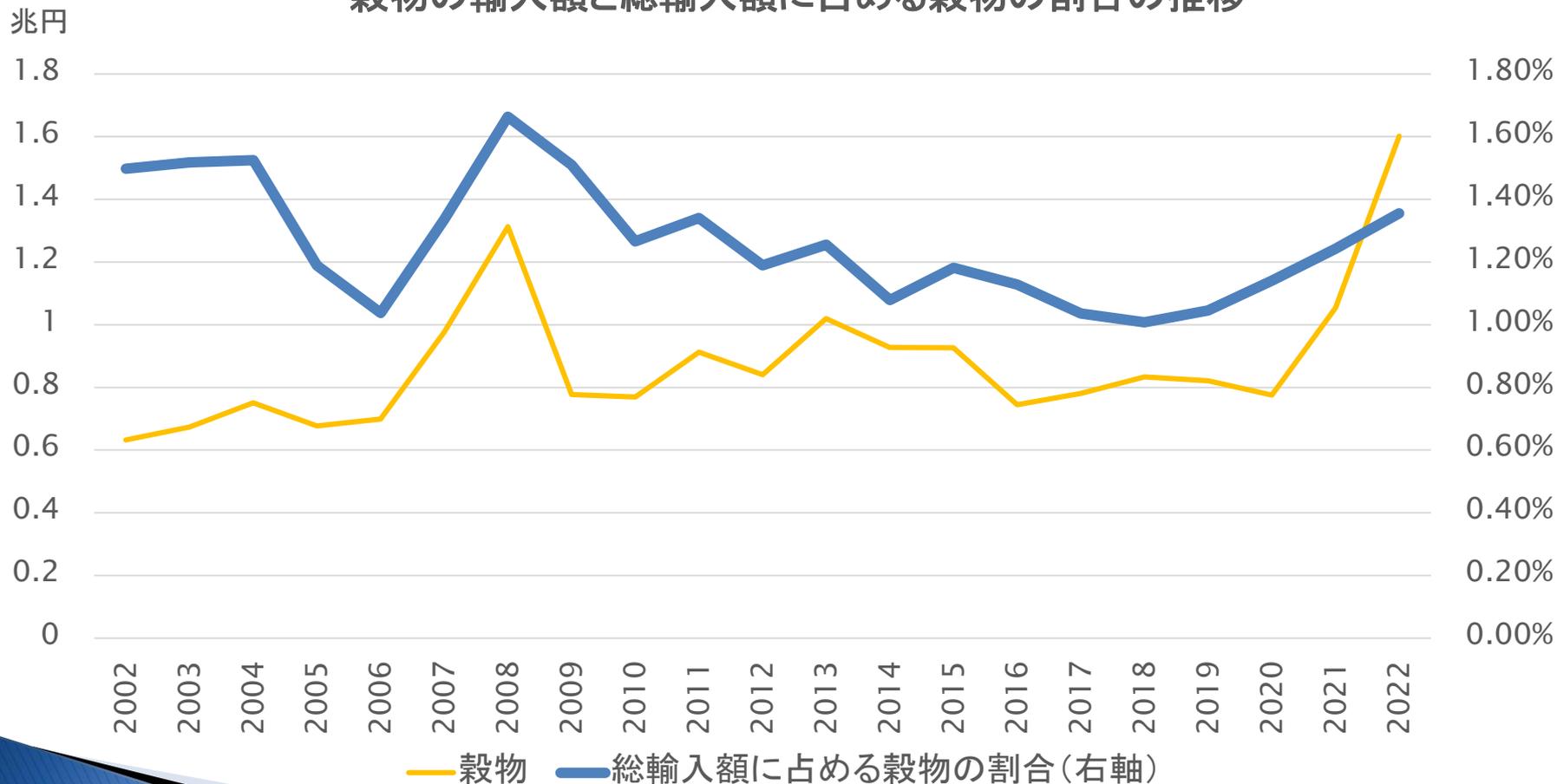
飲食料の最終消費額に占める農水産物の割合 (2015)



参考：農林水産省公表資料

(農水省) 日本が買い負ける？ 輸入リスク？

穀物の輸入額と総輸入額に占める穀物の割合の推移



出典: 財務省「貿易統計」

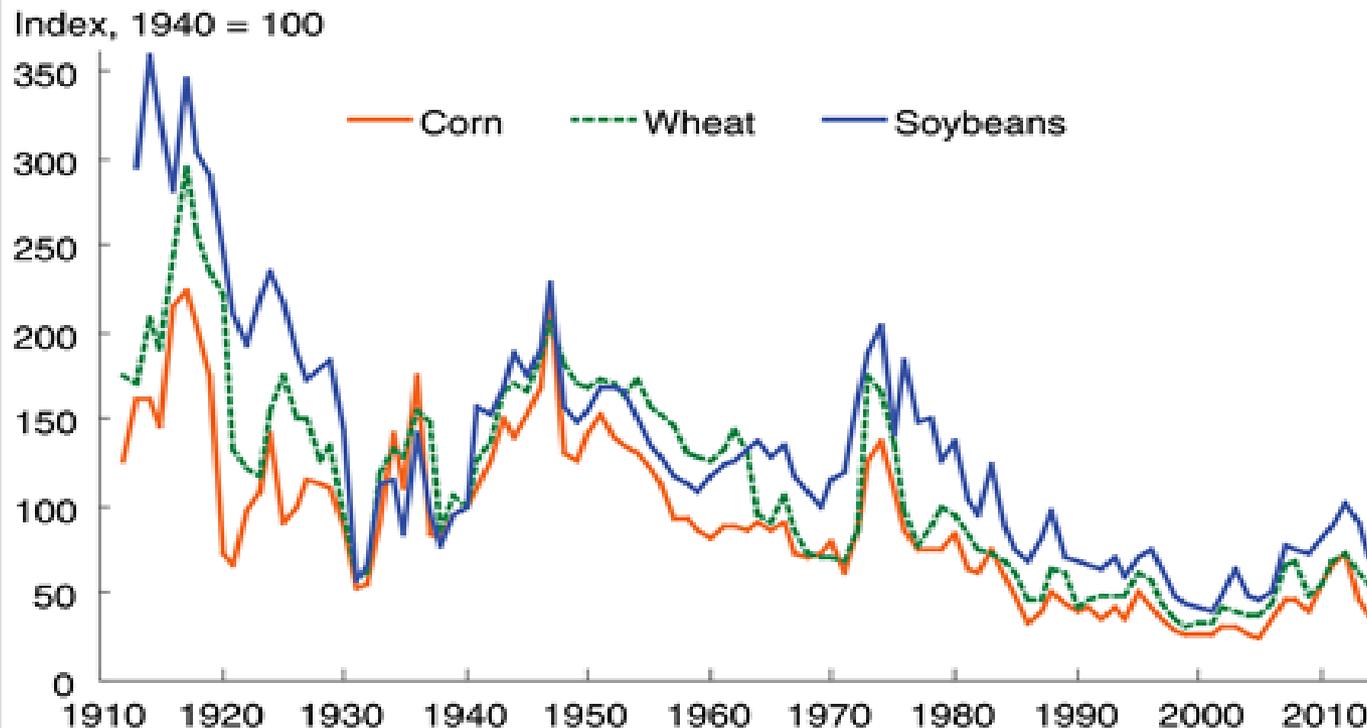
注: 穀物は小麦、米、とうもろこし、大豆の合計値、2020年の総輸入額は推定値を使用

世界人口が増加して食料危機？



1900年17億人⇒1980年45億人⇒2015年73億人⇒ 2050年95億人

Inflation-adjusted corn, wheat, and soybean prices, 1912-2014



Source: USDA, Economic Research Service calculations using data from USDA, National Agricultural Statistics Service and U.S. Department of Labor, Bureau of Labor Statistics.

(東大農学部教授) 食料は戦略物資？



▶ アメリカの大きな失敗

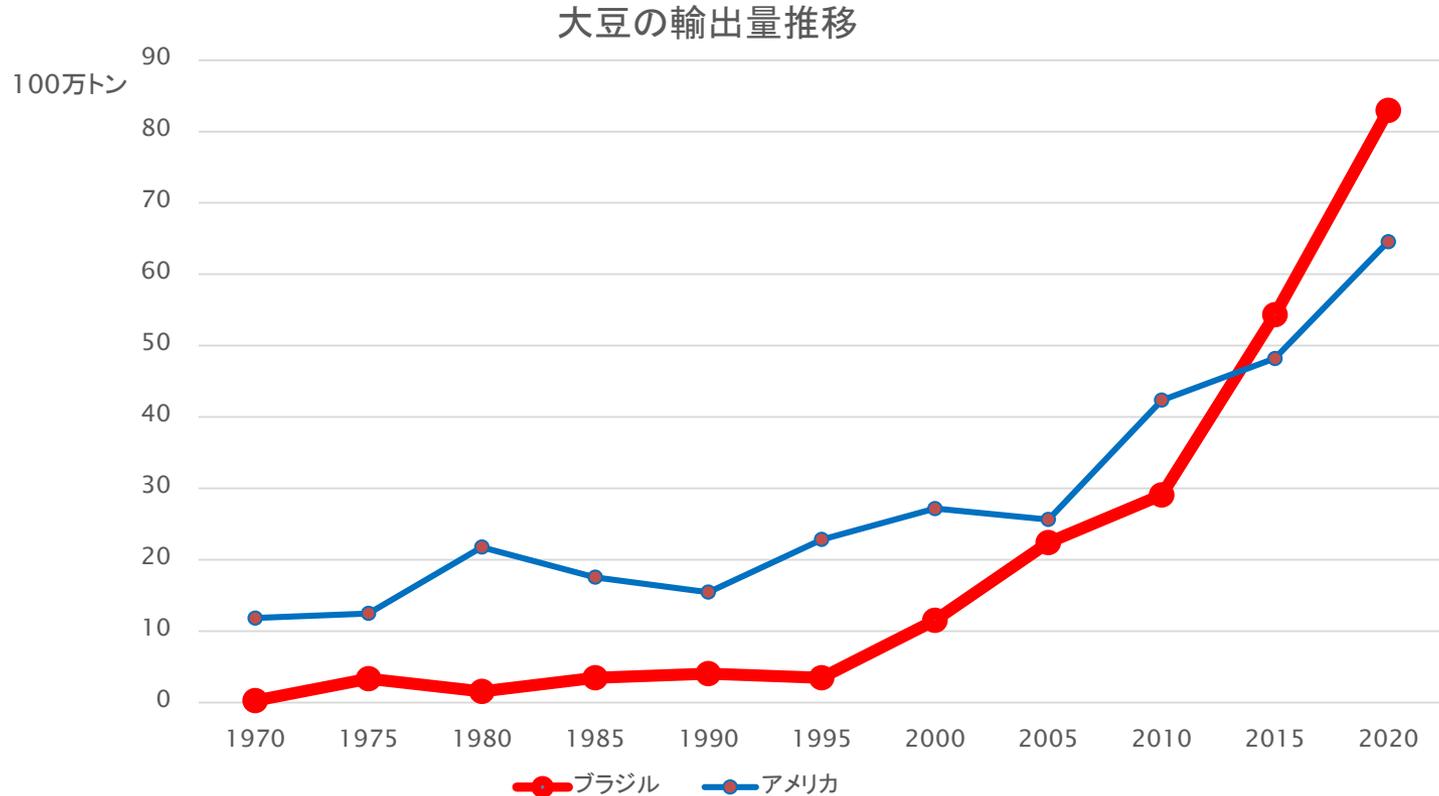
① 1973年大豆禁輸 → 日本はブラジル・セラード開発 → アメリカ独占状態からブラジルはアメリカを凌ぐ大輸出国へ

② 1980年対ソ穀物禁輸 → アメリカ農業は市場を喪失 → 1981年解除
しかし、農家廃業が相次ぐ。

⇒ **アメリカは減反も輸出制限もしない。**



アメリカ独占からブラジルー位へ

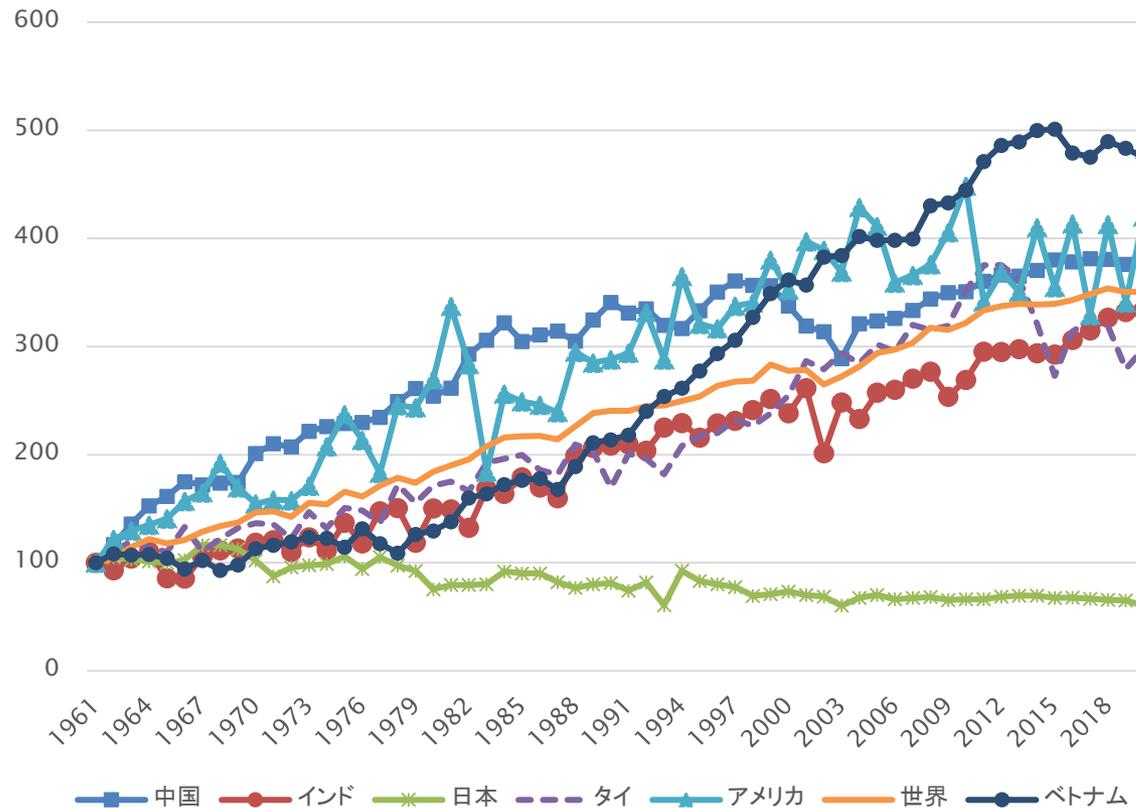




世界の米生産3.5倍、日本▲40%

中国の生産は、米4倍、大豆3倍、小麦9倍、トウモロコシ14倍に増加

コメ生産量推移
(1961年=100)



出所: FAOSTATより山下作成

農業はてな？その1



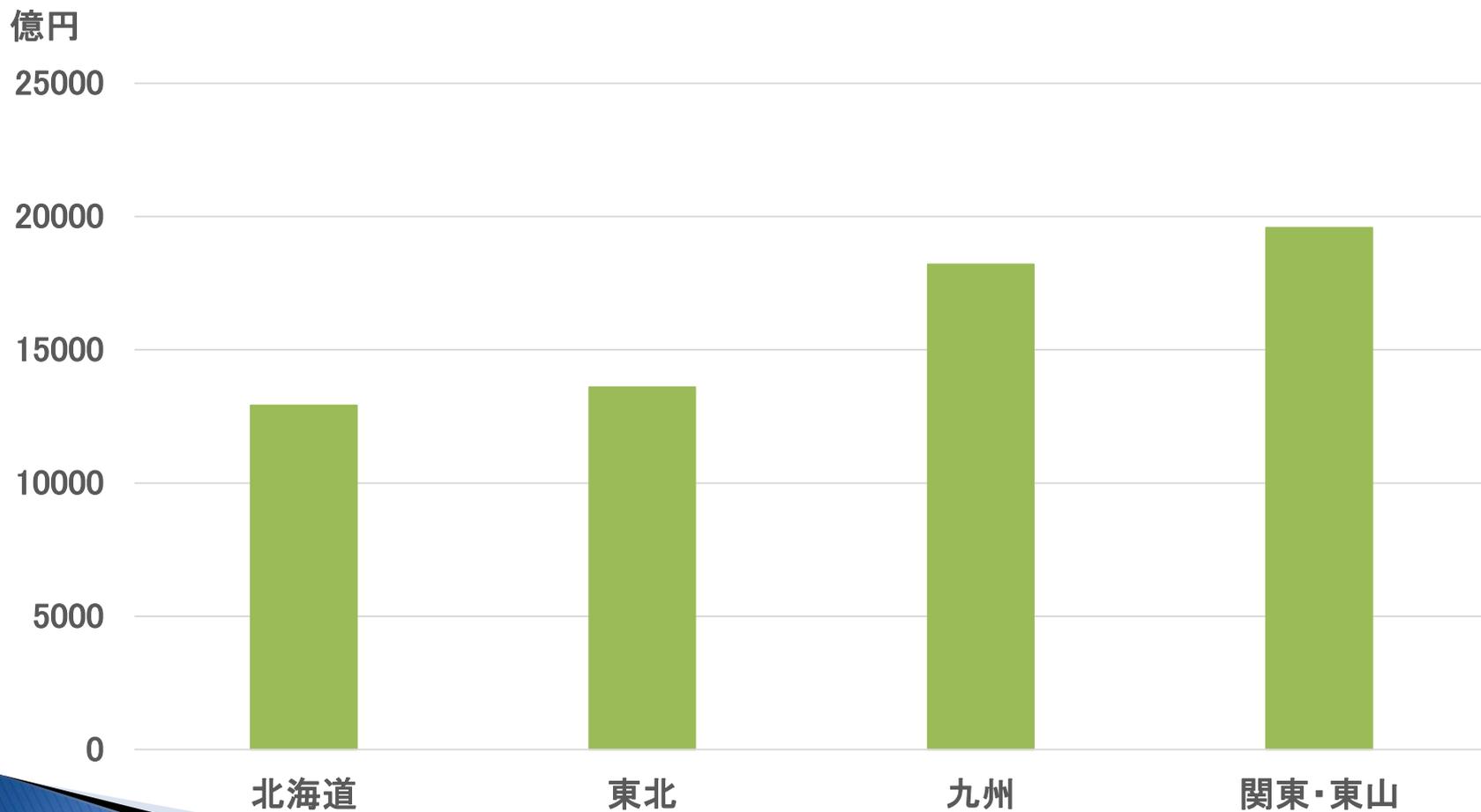
Q1. 日本の次の地域を農業生産額の多い順に並べなさい。

九州、 関東、 東北、 北海道

Q2. アメリカで一番農業生産額の多い州を選びなさい。

カリフォルニア、 テキサス、 アイオワ、 ネブラスカ、 フロリダ

地域農業生産額（2022）



出所：農林水産省、令和4年度生産農業所得統計

農業はてな？その2



Q3. 世界最大の農産物輸出国はアメリカですが、10位までの過半を占めている地域があります。次から選びなさい。

ヨーロッパ、アフリカ、アジア、オセアニア、南北アメリカ

Q4. 豪州は何位でしょう？世界最大の農産物輸入国は？

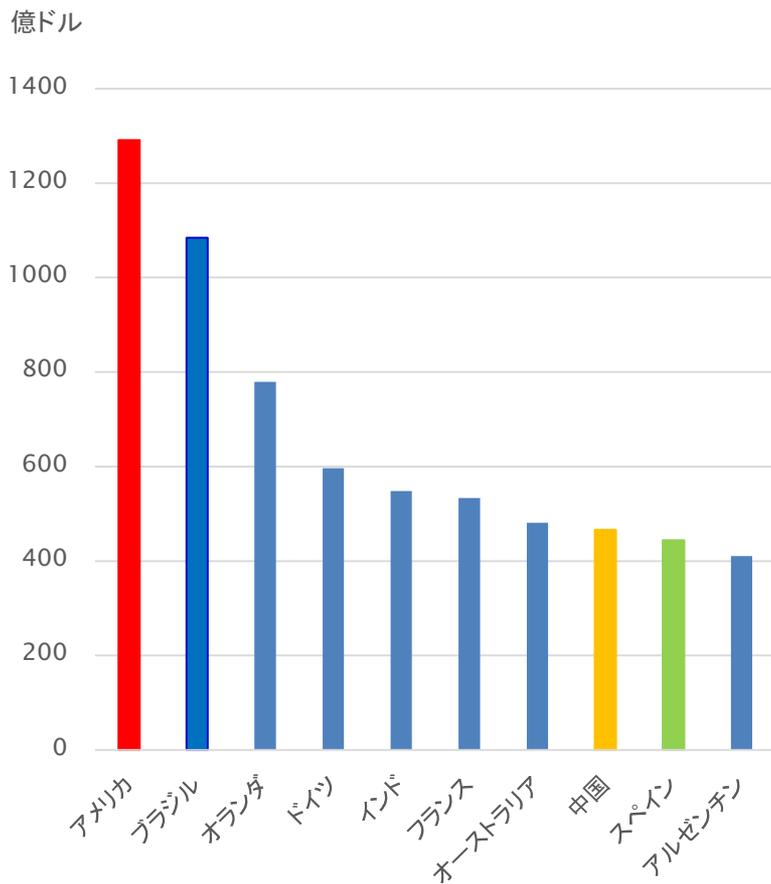
Q5. 牛肉の輸出国は、インド、ブラジル、アメリカ、豪州ですが、最大の輸入国は？

Q6. 以上のクイズからわかることは

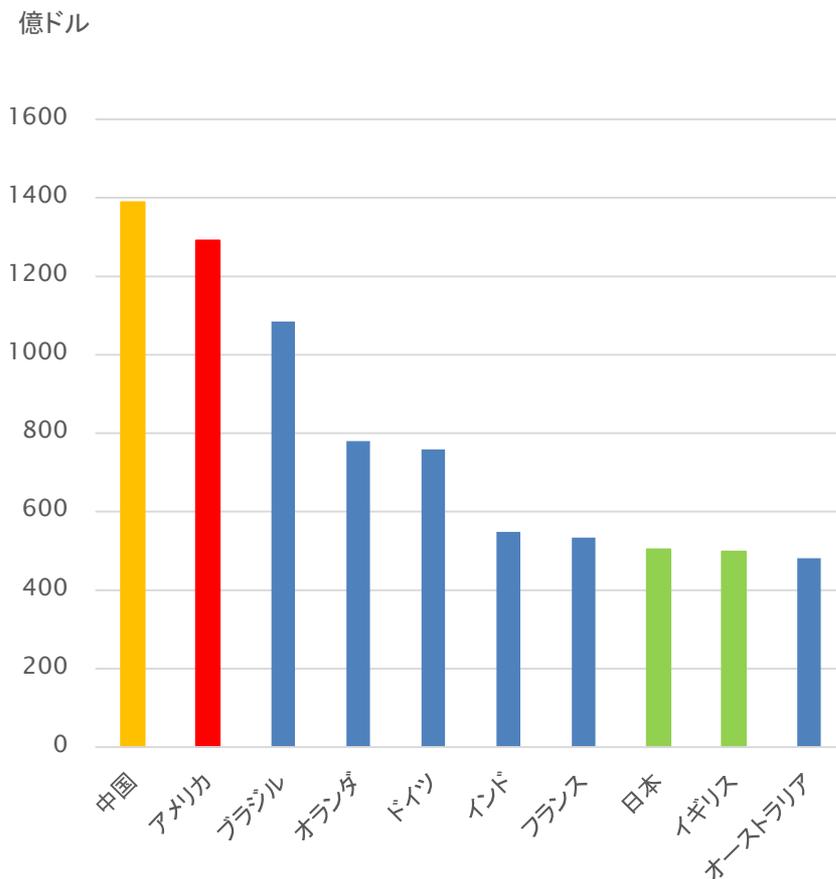
- 1. 土地が大きいだけでよい？**
- 2. 農産物の貿易と自動車の貿易は違う？**

農業の産業内貿易

農畜物輸出額上位10カ国



農畜物輸入額上位10カ国



考えるということとは？



- ▶ 東京大学を一番で卒業する人は頭が良い？
- ▶ われわれの仕事には、問題文はない！
= **問題を見つけなければならない**
- ▶ われわれの仕事には、誰かが用意した答えがない！
= **答えを見つけなければならない**



Facts(data)
x Logic(theory)
x English

- ・誰もが信じていることは正しいか？
- ・関連するファクツを集める
- ・シンプルな質問を発する
- ・枝葉をとってみる

遺伝子組換え農産物(大豆の例)



- ▶ 各国とも自ら安全性を確認したものしか流通させていない

違うのは表示



アメリカ	表示の義務付けは一切不要 (近年修正⇒日本)	
日本	大豆	表示義務 (5%以下なら不要)
	豆腐	表示義務 (DNAが残る)
	醤油・大豆油	表示不要 (DNAが残らない)
EU	全ての農産物・加工品に表示義務	
オーストラリア・ ニュージーランド	日本と同様の規制	

日本農業は規模が小さく競争力はないので 関税が必要なのか？



農家一戸あたりの経営面積

日本 2.87ha	アメリカ 179.7ha	オーストラリア 4291.1ha		
1	:	63	:	1495

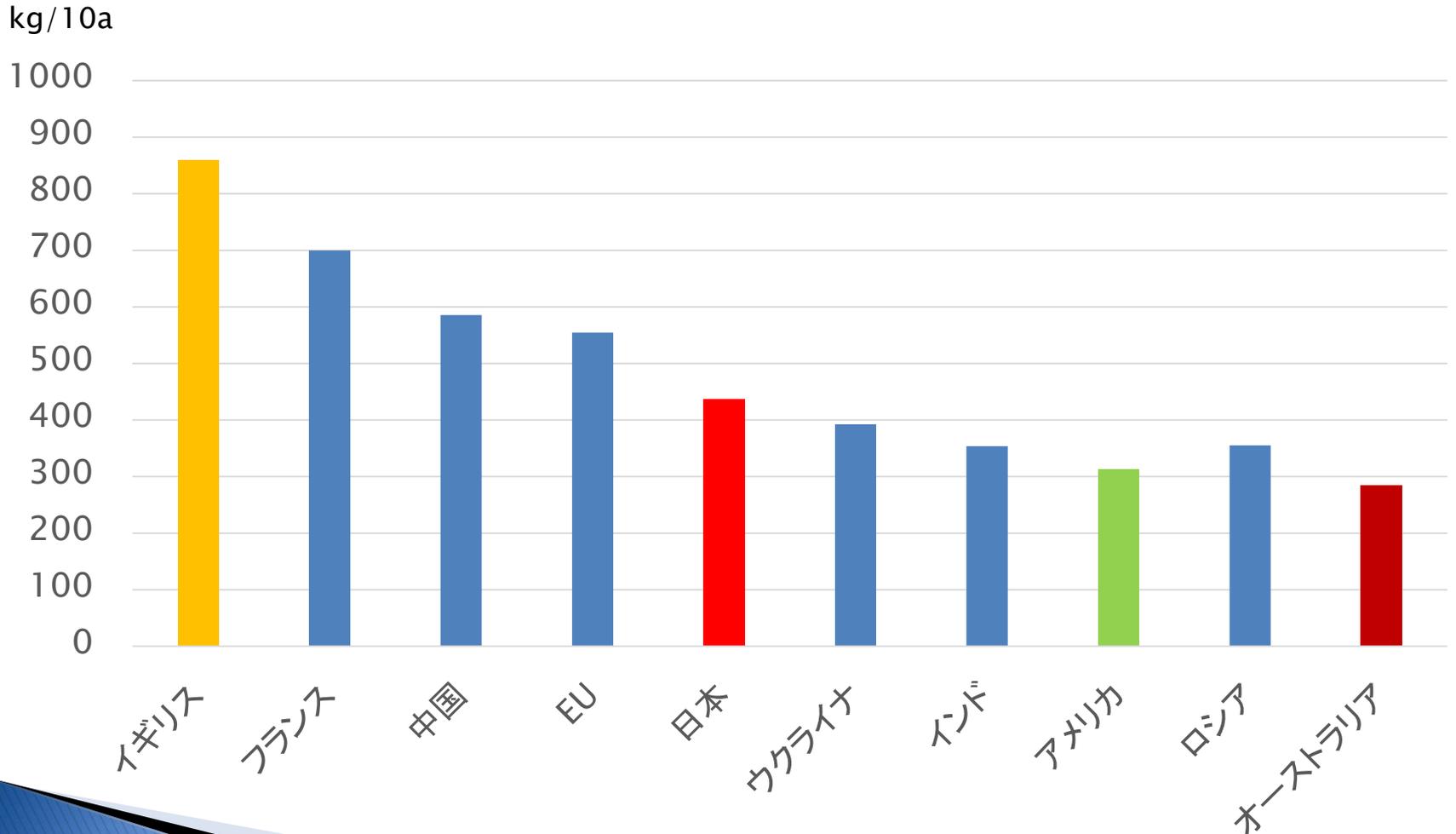
確かに、規模は重要だが……

①土地生産性 = 作物や単収の違いを無視

(世界最大の農産物輸出国アメリカもオーストラリアの17分の1、オーストラリアの小麦単収は英国の4分の1以下)

②もっとも重要なのは品質の違い

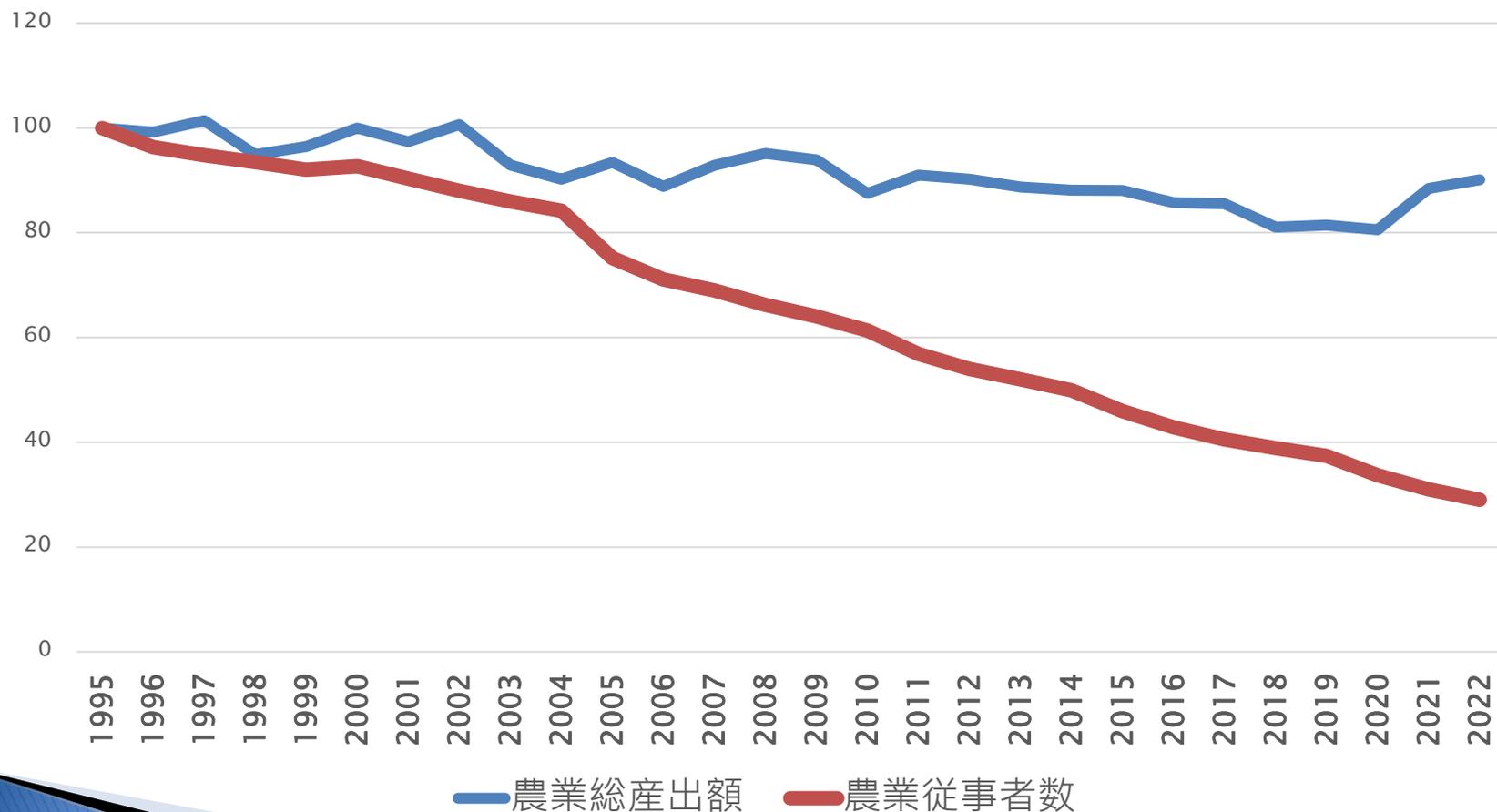
世界の小麦単収の比較（2022年）



出所) FAOSTATより作成

Nスペ: 農業従事者減少で食料供給不安?

農業関連統計の推移(1995年=100)

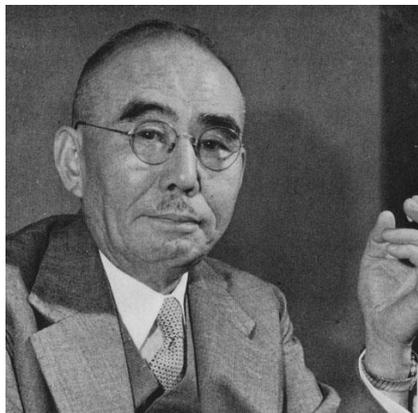


石橋湛山（1884～1973）の農業論

第55代内閣総理大臣



- ▶ 日本の農業はとても産業として自立できない、故に農業には保護関税を要する。低利金利の供給を要する。（中略）政府も、議会も、帝国農会も、学者も、新聞記者も、実際家も、口を開けば皆農業の悲観すべきを説き、事を行えばみな農業が産業として算盤に合わざるものなるを出発点とする。



- ▶ 斯くて我農業者は、天下のあらゆる識者と機関から、お前等は独り歩きは出来ぬぞと奮発心を打ちくだかれ、農業は馬鹿馬鹿しい仕事ぞと、希望の光を消し去られた。今日の我農業の沈滞し切った根本の原因は是に在る。



富士山のような柳田國男（1875～1962）



東畑精一

「柳田氏の言論はまさにただ孤独なる荒野の叫びとしてあったのみである。だれも氏の問題意識の深さや広さを感じ得るものではなく、その影響を受けるだけの準備を持つものではなくして終わったのである。氏はこの意味であまりにその時代の農政学や農業経営学の問題意識や認識水準から高く距りすぎたのである」

農業は工業と違う？

東畑精一(1899~1983)の柳田國男評



- ▶ しかし、「柳田の説は変だと駒場(現在の東京大学農学部)の専門家が言われました。」(柳田1910「時代ト農政」序文)
- ▶ だれも、農村・農民・農業は、他の社会・商工業者・他産業とは、いかに同一性格を持つかの大本を知ろうとしないで、差異を示し特殊性を荷っているかを血まなこに探し求めるに過ぎなかった。どうして柳田國男を理解し得よう。「あれは法学士の農業論にすぎない」のである。(東畑精一1973農書に歴史ありP80)

「オランダ農業が成功した理由は？」（大手食品会社取締役）

- ▶ **農業省を廃止、経済省に統合したから**
- ▶ フードバレーのワーヘニンゲン大学も文部省ではなく経済省の所管。
- ▶ オランダは政府による無償の農業改良普及事業を廃止、民間のコンサルタントによる技術支援に移行。技術の高い農家は、お金を払ってでもより高い技術指導を求める。オランダが高い技術で世界トップクラスの輸出国となったのも当然、

本講義の目的

- ▶ イギリスの著名な経済学者だった故ジョン・ロビンソン・ケンブリッジ大学教授の有名な言葉～「経済学を勉強するのは、経済学者に騙されないようにするためだ」。
- ▶ 農業の世界には、ウソが多い。
- ▶ 原子力村と同じく農業村がある。農政学や農業経済学を学ぶのは、農林水産省、JA農協、農業経済学者などの農業専門家に騙されないようにするため。そして正しい政策を作るため
- ▶ 農業経済学の碩学の遺言～「山下さん。農業をダメにしたのは農業経済学者だということを声を大にして言ってほしい」

松岡亮・元水産庁長官による 「農政無用論」(1986)

- ▶ 「**法学的教養を身につけた官僚のおちいりやすい過誤**は、**経済や社会に生ずる矛盾や社会悪を制度的な側面、とくに法制上の問題から考察し、理解する傾向があることからくるものが多く、より根本的な経済的な諸関係およびその変化を分析し、推論する努力が不足している。**」

参考文献

- ▶ 「日本が飢える！世界食料危機の真実」幻冬舎新書2022年
- ▶ 「国民のための『食と農』の授業」日本経済新聞出版2022年
- ▶ 「いま蘇る柳田國男の農政改革」新潮選書2018年
- ▶ 「TPPが日本農業を強くする」日本経済新聞出版社2016年
- ▶ 「バターが買えない不都合な真実」幻冬舎新書2016年
- ▶ 「日本農業は世界に勝てる」日本経済新聞出版社2015年
- ▶ 「農協解体」宝島社2014年